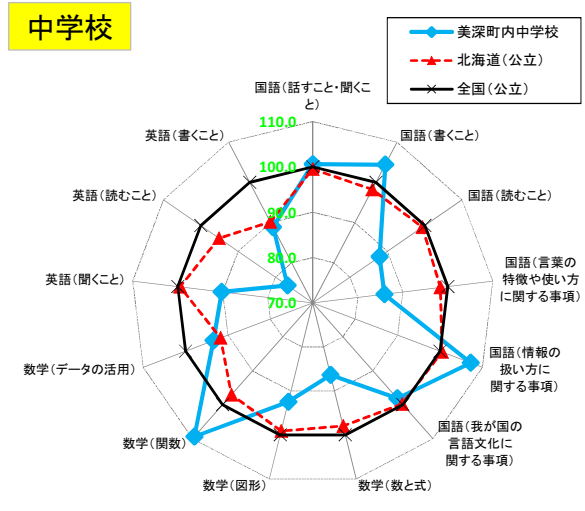
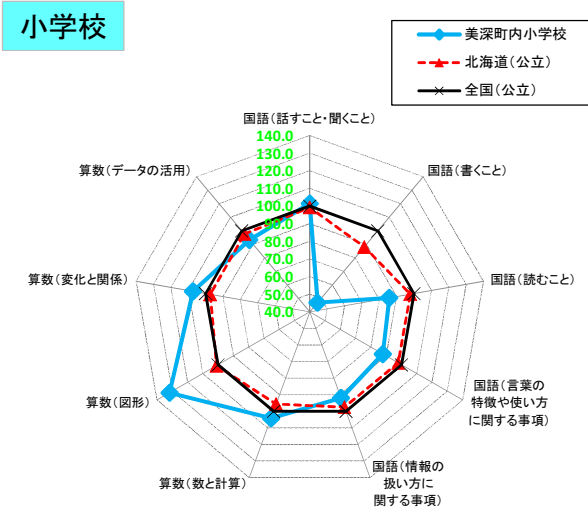


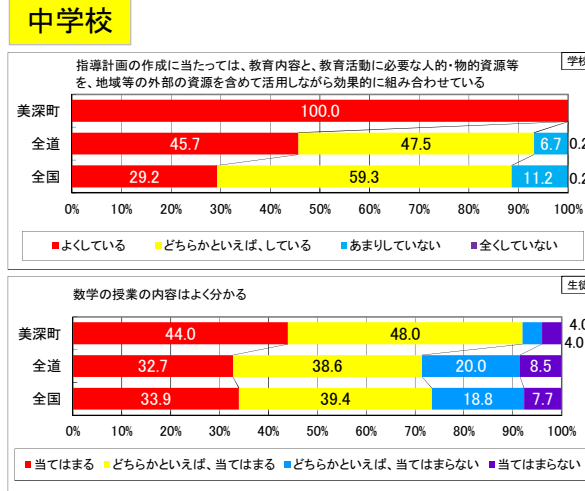
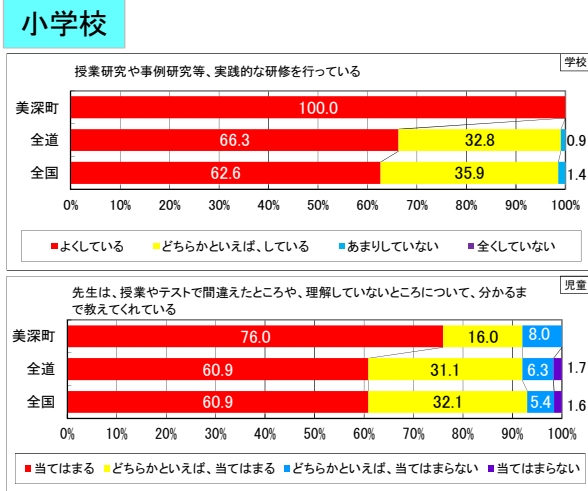
■美深町内の状況及び学力向上策（小学校数：2校、児童数：24人）（中学校数：2校、生徒数：25人）

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



【質問紙の状況】



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行ったことにより、各教科の授業改善の取組が活性化し、国語の「話すこと・聞くこと」、算数の「数と計算」「図形」「変化と関係」の領域で全国及び全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫したことにより、個に応じたきめ細かな指導が充実し、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

国語の授業において、互いに行った文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるような指導を効果的に行うなど、「書くこと」の指導を充実させる必要がある。

中学校

指導計画の作成に当たって、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせたことにより、教育活動が充実し、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域、「情報の扱い方に関する事項」、数学の「関数」の領域で全国及び全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

数学の授業において、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫したことにより、学習内容の理解が図られ、数学の授業の内容はよく分かったと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

英語の授業において、英語を読んで、一文一文ではなく全体の概要や要点を捉える言語活動を効果的に行うなど、指導の充実を図る必要がある。

【美深町の学力向上策】

- ◎ 個に応じた指導の充実や英語検定、漢字検定を活用した学力向上の取組の推進
- ◎ 幼小中高の連携した指導や、ALT等の人材を有効活用した外国語教育の推進
- ◎ 1人1台端末を効果的に活用した学習の推進
- ◎ 学校運営協議会や保護者と課題を共有した教育活動の推進